



松葉ガニ解禁にあわせて「津居山かに」タグを贈呈 ～地域ブランドのカニと豊岡市をPR～

市は、11月6日に解禁となる松葉ガニ漁の出港にあわせて、「津居山かに」に付ける「白色タグ」を津居山港機船底曳網組合に贈呈する。

但馬漁業協同組津居山支所は、すでに独自の「青色タグ」を「津居山かに」に付けているが、カニ漁が始まってから約1カ月間に水揚げされた「オスの津居山かに」には「白色タグ」をあわせて付け、松葉ガニシーズンの始まりを周知し、「津居山かに」と「豊岡市」をPRする。

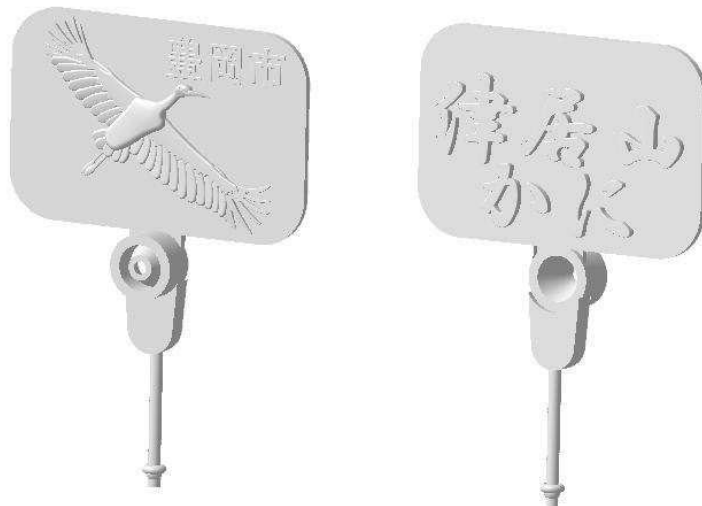
1 経緯

- (1) 現在の「青色タグ」には「豊岡市」の名前が表示されていない。
- (2) 豊岡市は、コウノトリの野生復帰・生物多様性への取組み、山陰海岸ジオパークやラムサール湿地登録、「豊岡エコバレー」の推進などが評価され、国内外で知名度が上がってきている。
- (3) 「津居山かに」を通して「豊岡市」をさらにアピールするとともに、環境意識の高い豊岡市のカニとして販売促進を図る。
- (4) 昨年も「津居山かに」につけるタグ（片面に「兵庫県豊岡市の文字と飛翔するコウノトリの写真」、片面に「津居山かにと船名の文字、各船の写真」）を作製したが、状況によって写真シートがはがれるようなことがあり、改良を図った。

2 「白色タグ」の概要

(1) デザイン

片面に「津居山かに」の文字、片面に「コウノトリ」の飛翔デザインと「豊岡市」の文字を浮かし彫りで表現している。（約40mm×26mm、白色プラスチック製）



(2) 贈呈個数等

津居山かに漁船16隻に対し、1隻あたり2,000個、合計32,000個を贈呈

（1隻あたり年間約1万匹に青色タグを付けるが、その内の2割に白色タグも付けることを想定）

※ 在使用している青色タグは、引き続き「津居山かに」に付ける。



※ 「白色タグ」は、初競りから32,000個全てが無くなるまで付ける。

(3) 事業費

1,546千円

3 「白色タグ」の贈呈

(1) 日時

11月5日(月) 午後9時～10時

(2) 場所

但馬漁業協同組合 津居山支所 津居山^{にさばき}荷捌所(豊岡市津居山)

(3) 内容

豊岡市長が、津居山かに漁出港式(実施主体:但馬漁業協同組合津居山地区運営協議会会長 眞野豊)の中で、津居山かに漁の船主へ贈呈する。

《参考》

1 「青色タグ」

津居山港機船底曳網組合が旧津居山漁協の時代(平成12年11月から)に作成されて、津居山青タグとして現在も使用されている。

(カニのデザインに「兵庫県」の文字、裏面に「津居山港」「船名」の文字)

2 現在の津居山支所所属の底曳網船の状況(平成24年10月末現在) 全16隻

底曳網漁船名	総トン数	底曳網漁船名	総トン数
龍太丸	40t	真島丸	95t
日本丸	40t	千鳥丸	85t
吉野丸	82t	第三天祐丸	95t
豊津丸	40t	かみかぜ丸	40t
豊龍丸	40t	幸生丸	87t
美津生丸	40t	第二大和丸	95t
三吉丸	40t	祇園丸	80t
第五天祐丸	40t	祥雲丸	95t

3 近年の「松葉ガニ」の漁獲量

過去5年間の松葉ガニ漁獲量(11月～3月)

【津居山港 水揚げ】

年度	松葉ガニ(全体)		松葉ガニ(オス)			松葉ガニ(メス)	
	漁獲量(トン)	漁獲高(千円)	漁獲量(トン)	匹	漁獲高(千円)	漁獲量(トン)	漁獲高(千円)
H19	370.5	1,029,295	191.7	274千	784,955	178.8	244,340
H20	295.3	894,854	198.2	283千	693,065	97.1	201,789
H21	239.0	855,596	136.1	194千	664,205	102.9	191,391
H22	246.9	756,364	124.1	177千	571,266	122.8	185,098
H23	220.8	733,767	113.8	163千	545,166	107.0	188,601

※「匹」欄の数量は、松葉ガニ(オス)1匹あたり平均0.7kgとして漁獲量から算出したおおよその数

[問合せ] 豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 TEL0796-23-1127